

平成28年4月23日

厚生労働省障害福祉課
全国社会福祉協議会
全国身体障害者施設協議会
熊本県身体障害児者施設協議会
熊本県障がい者支援課
熊本市障害保健福祉課

御中

熊本県身体障害児者施設協議会
会長 三浦 貴子
(愛隣館)

熊本地震における支援物資等の状況報告について (5号)

4月23日土曜日です。本日も8名の支援協力を頂きました。

天草整肢園・倉田さん、苓龍園・高岡さん、たまきな荘・藤井さん、のぞみ・前坂さん、寺崎さん、慈久園・諸藤さん、田中さん、堤さん、また焼きたてのパンと物資を北九州ちづる園、貴重な医療的ケア用品を佐賀の長光園から、共に施設長が届けて下さいました。広島、岡山、香川、鳥取、三重などから宅配便も届きました。ありがとうございます。

かんねさこ荘 (八代市)	←のぞみ (愛隣館経由・島根県、大阪府物資等)
ゆめの里 第4次	←たまきな荘 (愛隣館経由・島根県、中四国物資)
竜南中学校避難所 (熊本市北区)	←愛隣館 (広島県、岡山県、三重県等物資)

【現状について】

- ① 当法人の福祉避難所は、現在障害者支援施設に7名 (内3人が家族)、明日2名の障害者が利用開始です。特別養護老人ホームでは17名の受け入れです。16日に6人で避難の発達障害者を含むご家族を熊本市から受け入れましたが、現在は家の近くの支援学校を利用できています。災害時対応で、まずはショートステイなどの制度を優先し、足りない時に福祉避難所の利用者とするという協定の在り方ではなかったかと思えます。行政の方に確認したいことです。なお、被害が甚大な熊本市は言われませんが、山鹿市福祉避難所は1週間の協定で、特例2週間までと言われています。家屋の損傷など、危険や不安があって戻れない事例があり制度的に検討頂きたいと願います。
- ② 熊本市の東俊裕弁護士、DPI議長で在熊の平野みどりさん方と情報交換し、在宅の障害者の大多数に支援が届いていない現状を伺いました。14日以後すぐに益城町入り、炊き出しされた東さんですが、熊本学園大の避難所にも40人余りの障害者がおられたそうです。そして、「被災地障害支援センター」の立ち上げが始まりました。
- ③ 相談支援センター青空の大島さんからは、4月17日に渡した私達の水と食料物資を、エレベーターが止まって下りられない身体障害者の方々になんとか届けることができ、本当に感謝していると連絡がありました。エレベーターが止まったままのマンション等は少なくなく、さらに貯水槽が破損して断水は1ヶ月以上になる予定と高層マンションに住む高齢障害者から情報が入りました。かなりの量で飲料水のストックができ、施設には行き渡りました。窮状にある地域の人々にも届けたいと考えます。

熊本地震の被害はまんべんなく、各地域、各施設、各家庭を直撃しています。避難者の受け入れと物資をお受けし、届ける運営にはりついた8日間、1.5トン車、ハイエース等で38回救援物資を届け、初期の施設の危機回避は協力できたのではないかと考えます。しかし、情報が届き始めるとさらに深刻な事態がわかってきています。関係団体で連携していくことにこれから努めていきたいと思ひます。

障害者支援施設愛隣館

TEL : 0968-43-2771

FAX : 0968-43-2793

三浦携帯 : 090-3199-7125